

## 講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	園田 翔太郎	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校の通信課程を卒業し美容師免許を取得。在学中よりサロンで勤務し卒業後も美容師として経験を積む。その後、ヘアメイク・ブライダルの仕事も経験し幅広く活動しています。2018年より母校にて教育に携わっています。						

### 【授業を通じての到達目標】

1年後の自分のなりたいビジョンを明確にし、目標に向かって自ら考え行動することで就職内定に繋げることができる。  
社会人の仕組みやマナーを理解し、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力、対応力を身につける。

### 【学習内容】

就職活動についてのマナーや具体的なビジョンをグループディスカッションを通して考え行動する。  
社会人の仕組みやマナー、働くということを業界講話などからイメージし目的を理解し、自身の目標を組み立てるようにする。

### 【使用教科書・教材・参考図書】

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

筆記用具・ノート・プリントなど(各单元ごとに担任が準備する)

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/22)	<b>【到達目標】</b> ・3Sの振り返りを行い、掲げた目標に対しての現状を再確認することができる ・目標の振り返りから今後のアクションプランを考え組み立てることができる	⑨ (11/24)	<b>【到達目標】</b> 社会人として必要な基礎力を学び、自己の能力を伸ばし実践できるようになる ※前に踏み出す力(アクション)、考え抜く力(シンキング)、チームで働く力(チームワーク)
② (9/29)	<b>【到達目標】</b> ・国家試験に向けての流れと衛生項目について理解することができる ・国家試験筆記問題に慣れることができるようになる ※チームで全問正解できるように考える	⑩ (12/1)	<b>【到達目標】</b> ・社会人に必要な時間管理について理解し時間を有効に使えるようになる
③ (10/6)	<b>【到達目標】</b> ・クラス目標に対しての達成度を確認し、残りの生活における行動を組み立てることができる ※ディスカッション	⑪ (12/8)	<b>【到達目標】</b> ・社会におけるお金の仕組みについて理解することができるようになる② 給与/賞与/保健/貯蓄の必要性/家計のやりくり/資産形成
④ (10/13)	<b>【到達目標】</b> ・『利他の心』についてチームで考え理解し、行動に移すことができる ・相手を喜ばせるには？を考え形にすることができる ※ディスカッション、学園祭に向けた準備①	⑫ (12/15)	<b>【到達目標】</b> ・『思いやりの心』について理解し行動できるようになる ※ディスカッション、褒めあう、ことばの花束準備
⑤ (10/20)	<b>【到達目標】</b> ・『利他の心』についてチームで考え理解し、行動に移すことができる ・相手を喜ばせるには？を考え形にすることができる ※ディスカッション、学園祭に向けた準備②	⑬ (12/22)	<b>【到達目標】</b> ・これまでの振り返りを行い、冬休み・冬休み後の行動目標を明確にシタイムマネジメントができるようになる ※ディスカッション、ことばの花束
⑥ (10/27)	<b>【到達目標】</b> ・国家試験筆記問題に慣れることができるようになる ※チームで全問正解できるように考える、学園祭最終確認	⑭ (1/12)	<b>【到達目標】</b> ・2年間を振り返り、学校生活で身につけた力を卒業後、どのように活かすかイメージすることができる ・国家試験合格に向けてのイメージと心構えを持つことができるようになる。
⑦ (11/10) オンライン	<b>【到達目標】</b> ・将来のビジョンを考え、卒業後の目標設定をつくり動くことのイメージができるようになる ※目標設定(卒後ビジョン)	⑮ (1/19)	<b>【定期試験】50</b> 4Sで身につけた知識の確認 ・社会人基礎力について理解しているか ・社会人としての心構えと、社会人としてどうあるべきかの考えをもつことができるか ※社会人基礎力、目標設定プレゼンテーション
⑧ (11/17)	<b>【到達目標】</b> ・国家試験模擬試験に向けた流れと準備について理解することができる	<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

**講義シラバス**

科目名	文化論	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S(前期)	授業 形態	講義	総時間数	16 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	石野 紀子	講師プロフィール	市内中学校の教員を経て本校で美容師国家試験対策の筆記科目、通信スクーリング、専門学校大会のヘアスタイル画指導、デッサン等の授業を担当している。						
【授業を通じての到達目標】 美容師国家試験の必須科目である文化論の概要を理解し、問題の意図を読み取り過去問題を解けるようになる									
【学習内容】 文化論の内容を読み取り、美容業の歴史、日本のファッション文化史、正装について理解する									
【使用教科書・教材・参考図書】 教科書 文化論・教材プリント					【授業時間外における学習】				
日時	授業計画			回	授業計画				
① 9/21	【到達目標】 文化論が美容師国家試験の必修科目であることを知り、学習の流れを理解する				【到達目標】				
② 9/28	【到達目標】 美容の定義を知り、現代社会・文化における美容を学ぶと共に美容業の発生について理解する ヘアスタイルの描き方について学び、理解する				【到達目標】				
③ 10/5	【到達目標】 縄文時代から安土桃山時代のファッションについて学び、理解を深める 髪型、装身具、美意識、化粧等の特徴を知る				【到達目標】				
④ 10/1 2	【到達目標】 江戸時代のファッションについて学び、理解を深める 髪型、装身具、美意識、化粧等の特徴を知る				【到達目標】				
⑤ 10/1 9	【到達目標】 近代のファッションについて学び、理解を深める 髪型、装身具、美意識、化粧等の特徴を知る				【到達目標】				
⑥ 10/2 6	【到達目標】 現代Ⅰ(1945～1950年代)から現代Ⅳのファッションについて学び、理解を深める。髪型、装身具、美意識、化粧等の特徴を知る				【到達目標】				
⑦ 11/2	【到達目標】 正装(フォーマル)について和装・洋装の種類を学び理解する				【到達目標】				
⑧ 11/9	【到達目標】 文化論 教科書の全般内容を理解しているか				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点、定期試験50点 計100点満点  ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点)/D評価(50～59点)不合格 E評価(出席不良・評価資格喪失)F評価(0～59点)  ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】 出席・遅刻について/忘れ物、授業に取り組む姿勢									

**講義シラバス**

科目名	化粧品化学	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	山下 賢司	講師プロフィール	理系の分野を専門として、受験生を対象に指導を行っている。 札幌ベルでは、物理・化学、化粧品化学を中心に美容師国家試験の筆記対策を担当。						

**【授業を通じての到達目標】**

美容の施術を行う上では、様々な化粧品が使用されている。また、私たちは日常生活でも様々な化粧品を使用している。これら化粧品は、化学と密接な関係があり、その性質や特徴を理解することが安全性の上でも重要であり、正しい知識を持つことが必要であると認識する。

**【学習内容】**

具体的な基礎化粧品、メイクアップ用化粧品、頭皮・頭毛用化粧品等、実際に使用している化粧品について学ぶ。

**【使用教科書・教材・参考図書】**

教科書、問題集、プリント、内容によっては実験器具

**【授業時間外における学習】**

宿題提出があるかも…

回	授業計画	回	授業計画
	<b>【到達目標】</b>		<b>【到達目標】</b>
① 9/22	石けんに代表される皮膚洗浄用化粧品は、美容とはあまり関連性はないと思うかもしれない。ただし、皮膚の健康を維持する上では重要なことであり、正しい知識をつける必要がある。	⑨ 11/24	パーマの技術は酸化・還元反応を利用しており、これは、人体への影響が大きい化学反応である。安全性の確保のために、しっかりと知識と技術が必要であり、化学基礎で習った酸化・還元反応とパーマの原理を結びつけ、理解できるようになる。
② 9/29	皮膚洗浄用化粧品と同様に、皮膚の健康を維持する上では重要なことである。正しい知識を身につけ、各化粧品の成分や使用目的について理解する。	⑩ 12/1	カラー製品の種類と染毛メカニズムについて理解する。 特に酸化染毛剤や脱色剤は、パーマと同様、酸化・還元反応を利用したものである。安全性の確保のために、しっかりと知識と技術が必要であり、化学基礎で習った酸化・還元反応と 酸化染毛剤、脱色剤の原理を結びつけ、理解できるようになる。
③ 10/6	皮膚洗浄用化粧品と同様に、皮膚の健康を維持する上では重要なことである。正しい知識を身につけ、各化粧品の成分や使用目的について理解する。	⑪ 12/8	カラー製品の種類と染毛メカニズムについて理解する。 特に酸化染毛剤や脱色剤は、パーマと同様、酸化・還元反応を利用したものである。安全性の確保のために、しっかりと知識と技術が必要であり、化学基礎で習った酸化・還元反応と 酸化染毛剤、脱色剤の原理を結びつけ、理解できるようになる。
④ 10/13	現在では、ネイルやまつ毛エクステンションも行っている美容所にも増えてきている。特にまつエクは、美容師でなければ施術はできないとされており、安全性の確保のためにも物であり、技術とともに正しい知識が必要であることを理解する。	⑫ 12/15	脱毛の原因を知り、その種類ごとに配合される成分の種類と目的を知る。 育毛・養毛剤の種類と機能による分類を理解する。
⑤ 10/20	シャンプー、リンス剤やスタイリング剤は、美容師にとっては最も身近な化粧品ともいえる。これらに配合されている成分とその目的について学び、理解する。	⑬ 12/22	香料の種類と調合香料について学び、芳香製品についても理解する。
⑥ 10/27	シャンプー、リンス剤やスタイリング剤は、美容師にとっては最も身近な化粧品ともいえる。これらに配合されている成分とその目的について学び、理解する。	⑭ 1/12	サンケア製品、美白用化粧品、制汗・防臭剤の配合成分と使用目的について理解する。 サンケア製品に関しては、紫外線とともに学習する。
⑦ 11/10	基礎化粧品、メイクアップ用化粧品、及び、シャンプー剤・スタイリング剤について、最低限の知識を持ち、理解ができるようになる。 問題内容を正しく読み取り、正しい答えが導けるようになる。	⑮ 1/19	<b>【定期試験内容】</b> ⑮ 絶対評価 出題文章の内容を確実に読み取り、その正解が導けるようになる。 各自、国家試験本番への心構えを行う。
⑧ 11/17	パーマの技術は酸化・還元反応を利用しており、これは、人体への影響が大きい化学反応である。安全性の確保のために、しっかりと知識と技術が必要であり、化学基礎で習った酸化・還元反応とパーマの原理を結びつけ、理解できるようになる。	<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト50点、定期試験50点 計100点満点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

**【履修に当たっての心構え・留意点】**

聞いたり見たりしたことは、自ら書いたり言葉にして発することで知識が定着します。授業内容は、各自ノートにしっかり書いて、提出してもらいます。

講義シラバス

科目名	美容技術理論	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	飯嶋 美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就き27年目を迎える。現在は国家試験科目の筆記を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
国家試験に向けた出題傾向と過去問対策を中心に、幅広い展開の授業で合格レベルの知識と応用力・判断力を身につける。									
【学習内容】									
専門的分野に広げた専門用語・技術や道具などの解説、受験対策として4択問題を中心に読解力の強化を図る。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
美容技術理論①・②教科書、B5判ノート、筆記用具、A4サイズポケットファイル(30ポケット)					教科書の写真・図の理解を深める。ワークブック過去問対策(コピー使用)				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/22)	【到達目標】 定期試験フィードバック<教科書①> 各自の弱点、理解できていない項目を自覚する。				⑨ (11/17)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <人体各部名称、作業姿勢、美容用具>			
② (9/29)	【到達目標】 教科書②スタート エステティック<肌質のタイプ、基本手技、フェイシャルケア、パック>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑩ (11/24)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <シャンプーイング・ヘアカットting>			
③ (10/6)	【到達目標】 ネイル技術①<種類と爪の構造と機能・名称、カット形状、マニキュア技術の道具と手順>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑪ (12/1)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <ヘアセッティング、ヘアデザイン>			
④ 10/13	【到達目標】 ネイル技術②<アーティフィシャルネイル技術の種類と道具、チップ・ジェル・リペアの違い>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑫ (12/8)	【到達目標】 教科書① ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <パーマネットウェーブ、ヘアカラーリング>			
⑤ 10/20	【到達目標】 メイクアップ①<理論、道具、スキンケア、ベースメイク>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑬ (12/15)	【到達目標】 教科書② ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <エステティック、メイクアップ>			
⑥ 10/27	【到達目標】 メイクアップ②<アイメイク、アイブロウ、リップ、ブラッシュオン、まつエク>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。 ※日本髪①の名称と種類				⑭ (1/12)	【到達目標】 教科書② ワークブックより発展した解説を中心として、各項目ごとに重点的に応用力を身につける。 <ネイル技術、日本髪、着付け技術>			
⑦ 12/22	【到達目標】 日本髪②<装飾品・小物、技術手順>/着付け②<一般的要領、小物、たたみ方、和装花嫁>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑮ (1/19)	【定期試験】50点 <定期試験>4択問題を中心に行い、読解力と応用力を鍛えることを目的とする。			
⑧ 11/10	【到達目標】オンライン週間 <パワーポイント&教科書②使用> 着付け①<礼装、着物のいろいろ、帯>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!									

## 講義シラバス

科目名	美容実習(ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	北俣京子	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務 数年前よりベルエポック美容専門学校講師として勤務						

**【授業を通じての到達目標】**

国家試験合格基準まで到達する

**【学習内容】**

基礎的技術と 衛生面の取り扱いの徹底

**【使用教科書・教材・参考図書】**

WD用具一式・プリント・筆記用具・名札

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

日時	授業計画	日時	授業計画
① (9/21) (9/24) 全頭 22分	【到達目標】 基本通り1本1本を正確に巻く	⑨ (11/16) (11/19) 全頭 20分	【到達目標】 個々の苦手部分を強化しレベルを上げる
② (9/28) (10/1) 全頭 22分	【到達目標】 姿勢を含め 動作を早くする	⑩ (11/30) (11/26) 全頭 20分	【到達目標】 個々の苦手部分を強化しレベルを上げる
③ (10/5) (10/8) 全頭 22分	【到達目標】 オンベース オフベース 正確性を強化する	⑪ (12/7) (12/3) 全頭 20分	【到達目標】 個々の苦手部分を強化しレベルを上げる
④ (10/12) (10/15) 全頭 21分	【到達目標】 左右のシンメトリーの正確性	⑫ (12/14) (12/10) 全頭 20分	【到達目標】 全体のバランス、シンメトリー 面 ゴムの掛け方が出来ている
⑤ (10/19) (10/22) 全頭 21分	【到達目標】 全体のバランス、面 ゴムの掛け方を正確にする	⑬ (12/21) (12/17) 全頭 20分	【到達目標】 全体のバランス、シンメトリー 面 ゴムの掛け方が出来ている
⑥ (10/26) (10/29) 全頭 21分	【到達目標】 国家試験 衛生 持ち物について理解する	⑭ (1/11) (1/14) 全頭 20分	【到達目標】 国家試験合格基準
⑦ (11/2) (11/5) 全頭 20分	【到達目標】 シンメトリー ラウンド 面 ゴムの掛け方が出来ている	⑮ (1/18) (1/21) 全頭 20分	【定期試験】50 衛生面 技術 国家試験合格基準 時間内完成 20分
⑧ (11/9) (11/12) 全頭 20分	【到達目標】 国家試験 衛生について理解する	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

**【履修に当たっての心構え・留意点】**

## 講義シラバス

科目名	美容実習 II・III (オールウェーブ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	60 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	稲川 千絵	講師 プロフィール	市内大手の美容室に勤務後、円山の個人店勤務をしながら平成16年から 本学校で国家試験科目第二課題(オールウェーブ)を 専門に分かりやすく教えることを心掛けています。						
【授業を通じての到達目標】									
国家試験実技課題。オールウェーブ7段構成をバランス良く作り、全てのカールを正確に取めるようになる									
【学習内容】									
国家試験合格基準に時間内で合格できる技術力をつける									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
シラバス・AW道具一式・タオル4～5枚・筆記用具・ 雑巾(タオル2つ折り縫っていないもの)					毎週宿題あります				
日時	授業計画				日時	授業計画			
	【到達目標】					【到達目標】			
① (9/21) (9/24)	右リフトカールに入る 右リフトカールの姿勢、手つきができるようになる 4・5・6段目の縦幅のバランスの復習				⑨ (11/16) (11/19)	額の強化(正しい目線、姿勢、コームの使い方) 確認作業 7段と縦1/3のバランス右、左フロントサイドの 正確なウェーブ幅が作れるようになる の良い額			
② (9/28) (10/1)	右リフトカールの強化 額～4、5、6段目横スライス取り、右リフトカールまでの復習 正しい姿勢、目線、コームの持ち方を習得できるようにする				⑩ (11/30) (11/26)	額の強化(正しい目線、姿勢、コームの使い方) 確認作業 7段と縦1/3のバランス右、左フロントサイドの 正確なウェーブ幅が作れるようになる の良い額			
③ (10/5) (10/8)	左リフトカールに入る 左リフトカールの姿勢、手つきができるようになる 4・5・6段目の縦幅のバランスの復習				⑪ (12/7) (12/3)	額の強化(正しいウェーブ幅)7段と縦1/3のバランス 目線、コームの使い方、ピン持ち方、広げ方の強化 正確な額に全てのカールを取めるようになる			
④ (10/12) (10/15)	左右リフトカールの復習 正しい姿勢、目線、コームの持ち方を習得できるようにする				⑫ (12/14) (12/10)	額の強化(正しいウェーブ幅)7段と縦1/3のバランス額の強化(正しいウェーブ幅) 正確な額に全てのカールを取めるようになる			
⑤ (10/19) (10/22)	額の強化(正しい目線、姿勢、コームの使い方) メイポールカールに入る メイポールカールの姿勢、手つきができるようになる				⑬ (12/21) (12/17)	タイムを23分計って作る。 7段、縦1/3のバランス強化し、 正確な額に全てのカールを入れるようになる			
⑥ (10/26) (10/29)	額の強化(正しい目線、姿勢、コームの使い方)右、左フロントサイドウェーブ幅の強化 バランスの良い額にカールをおさめられるようになる				⑭ (1/11) (1/14)	7段、縦1/3の正しい額を意識し、全てのカールの復習 7段構成をタイム23分で作れるようになる			
⑦ (11/2) (11/5)	額の強化(正しい目線、姿勢、コームの使い方) バランスの良い額に右、左リフトカール、メイポールカールを入れる				⑮ (1/18) (1/21)	【定期試験】50 オールウェーブ7段構成23分 正しい額、(7段と縦1/3のバランスの良い額) 全てのカールをバランス良く取めるようになる			
⑧ (11/9) (11/12)	【到達目標】  オンライン授業 国家試験採点項目の確認 合格基準を理解できるようにする				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
国家試験は技術だけでは合格できません。忘れ物、衛生も重要です。 毎回の授業の積み重ねが大切になっていきます。									

## 講義シラバス

科目名	美容総合カット	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	45	時間
学科	美容師科			コース	ヘアスタイリスト専攻	学年	2年生			
講師名	義島 竜二	講師 プロフィール	2007年zerohair入社、トップスタイリスト 社内技術指導担当、主にカットを指導しています ディーラー、メーカー、他サロンなどの外部講師も務める。コンテスト等にも積極的に参加し 受賞歴多数							
【授業を通じての到達目標】										
サロンワークでのヘアスタイルをイメージし、デザインを考え作れるようになる										
【学習内容】										
カットからスタイリングまでの技術を用いてサロンスタイルのデザイン力を身につける										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
ウィッグスピロ102、カット ブロー スタイリング道具一式					時間内にできなかった技術の習得					
日時	授業計画				日時	授業計画				
	【到達目標】					【到達目標】				
① (9/27)	サロンスタイルに必要な考え方、ヘアスタイルを確認することができるようになる				⑨ (11/22)	テーマと同じものをコピーカットできるようになる				
② (10/4)	テーマと同じものをコピーカットできるようになる				⑩ (11/29)	テーマと同じものをコピーカットできるようになる				
③ (10/11)	テーマと同じものをコピーカットできるようになる				⑪ (12/6)	テーマと同じものをコピーカットできるようになる				
④ (10/18)	テーマと同じものをコピーカットできるようになる				⑫ (12/13)	ヘアスタイルの展開図を書き、カットで再現することができるようになる				
⑤ (10/25)	質感調整や毛量調整を使って完成度を高めることができるようになる				⑬ (12/20)	ヘアスタイルの展開図を書き、カットで再現することができるようになる				
⑥ (11/1)	時間を計りイメージしたものができか確認する				⑭ (1/10)	時間を計りイメージしたものができか確認することができるようになる				
⑦ (11/8)	オンラインでのデモを見てサロンスタイルのカット、仕上げを学ぶ				⑮ (1/17)	定期試験 時間内にカットの正確さ、スタイリングの綺麗さ、デザイン性があるか、テ				
	【到達目標】					【定期試験】50				
⑧ (11/15)	中間テスト 習ったことを踏まえてデザインを考えカットスタイリングをする					【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
遅刻、欠席、忘れ物がないことが望ましく万が一の場合は事前に授業内容を										

## 講義シラバス

科目名	美容総合カラー	必修 選択の別	選択	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース	ヘアスタイリスト専攻	学年	2年生		
講師名	種物谷 聡史、吉田 光輝	講師 プロフィール	SWANグループ本店、店長、副店長。札幌で3店舗を展開。OPENして3年で3店舗、入社後スタッフ離職率0%！！最先端の技術を札幌最速で発達している。						

**【授業を通じての到達目標】**

ヘアカラーの理論、知識を理解し、卒業後の即戦力を目指します。

**【学習内容】**

ヘアカラーの理論、知識を理解した上で、様々なカラー技法をウィックで実習します。

**【使用教科書・教材・参考図書】**

シラバス、カラー用具一式、ブロー用具一式、アイロン、ウィック、筆記用具

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

その都度、お伝えします。

日時	授業計画	日時	授業計画
16 (9/27)	【到達目標】 フェイスブレイミングカラーのベース作りができるようになる。	24 (11/22)	【到達目標】 時間内ブリーチ全頭塗布することができるようになる。
17 (10/4)	【到達目標】 フェイスブレイミングカラーの色出しを理解できるようになる。	25 (11/29)	【到達目標】 時間内ブリーチ全頭塗布することができるようになる。(2回連続)
18 (10/11)	【到達目標】 インナーカラーのベース作りを理解できるようになる。	26 (12/6)	【到達目標】 インナーマニキュアでレインボーカラーの塗布ができるようになる。(ホイール使用)
19 (10/18)	【到達目標】 インナーカラーの色出しを理解できるようになる。	27 (12/13)	【到達目標】 自身で考え作品をつくることができる。自由制作。ブリーチ使用
20 (10/25)	【到達目標】 試験に向けたベース作りができる。	28 (12/20)	【到達目標】 自身で考え作品をつくることができる。自由制作。色出し
21 (11/1)	【到達目標】 試験に向けたオンカラーの色出しができる。	29 (1/10)	【到達目標】 定期試験に向けたベース作りができるようになる
22 (11/8)	【到達目標】 塩基性カラーの理論、薬剤の違いを理解することができる。(オンライン授業)	30 (1/17)	【定期試験】50 カットとの合同テストでカットカラーを行い評価する
23 (11/15)	【到達目標】 後期中間チェック。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

**【履修に当たっての心構え・留意点】**

授業に忘れ物をせず必ず出席する。



## 講義シラバス

科目名	サロンワーク	必修 選択の別	必修	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	90 時間
学科	美容師科			コース	サロン実践専攻	学年	2年生		
講師名	阿部雅記	講師 プロフィール	Remii大通店勤務。カット・パーマ・カラー・online教育のプロデューサーを務める。 社内でも数々の動画コンテンツでの育成に携わる。 サロンで役立つパーマ、カラー技術を教えることが出来ます。						
【授業を通じての到達目標】									
サロン入社後、即戦力となる技術や心構えを身に付けることができる									
【学習内容】									
サロン実習を通じて、サロン入社後即戦力となる、知識、技術、接客などを学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
シラバス、カラー用具一式、パーマ用具一式、ブロー用具一式 ヘアアイロン、ウィッグ、筆記用具					ウィッグデザインの仕込みなど				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 9/21(火)	【到達目標】 シャンプートレーニング(相モデル)				⑫ 11/15(月)	【到達目標】 相モデル・サロンワーク(5人サロンワーク、相モデルでトータルコーディネート&撮影)を することができる			
② 9/27(月)	パーマ理論(基本的な薬剤知識、巻き方)を理解することができる				⑬ 11/16(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
③ 8/28(火)	シャンプートレーニング(相モデル)				⑭ 11/22(月)	【到達目標】 相モデル・サロンワーク(5人サロンワーク、相モデルでトータルコーディネート&撮影)を することができる			
④ 10/4(月)	【到達目標】 パーマ検証(毛髪の違いによるパーマのかかり方の違いを検証)を理解することができる				⑮ 11/29(月)	【到達目標】 相モデル・サロンワーク(5人サロンワーク、相モデルでトータルコーディネート&撮影)を することができる			
⑤ 10/5(火)	シャンプートレーニング(相モデル)				⑯ 11/30(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
⑥ 10/11(月)	【到達目標】 パーマ実習(相モデルでパーマ実習)をすることができる				⑰ 12/6(月)	【到達目標】 相モデル・サロンワーク(5人サロンワーク、相モデルでトータルコーディネート&撮影)を することができる			
⑦ 10/12(火)	シャンプートレーニング(相モデル)				⑱ 12/7(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
⑧ 10/18(月)	【到達目標】 パーマ・カット仕込み(テッサン、展開図)をすることができる				⑲ 12/13(月)	【到達目標】 定期試験仕込み(テッサン、展開図)をすることができる			
⑩ 10/19(火)	シャンプートレーニング(相モデル)				㉑ 12/14(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
⑪ 10/25(月)	【到達目標】 パーマ・カラー・カット仕込み(カラー仕込み、カット仕込み)をすることができる				㉒ 12/20(月)	【到達目標】 定期試験仕込み(ブリーチ、カット仕込み)をすることができる			
⑫ 10/26(火)	シャンプートレーニング(相モデル)				㉓ 12/21(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
⑬ 11/1(月)	【到達目標】 中間チェック(パーマスタイル)				㉔ 1/10(月)	【到達目標】 定期試験仕込み(オンカラー、カット仕込み)をすることができる			
⑭ 11/2(火)	シャンプートレーニング(相モデル)				㉕ 1/11(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
⑮ 11/8(月)	【到達目標】 動画鑑賞・レポート				㉖ 1/17(月)	【定期試験】50 ウィッグデザイン創作・スタイリング			
⑯ 11/9(火)	シャンプートレーニング(相モデル)				㉗ 1/18(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
【履修に当たっての心構え・留意点】					【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点				
					●評価: A評価(80~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格)				
					●評価方法: 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

## 講義シラバス

科目名	美容総合(ヘアアレンジ&メイク)	必修 選択の別	選択	開講 区分	4S	授業 形態		総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース	ヘアメイク専攻	学年	2年生		
講師名	アトリエ／蓮川	講師 プロフィール	メイクアップアトリエは、CM,広告,TVなどの撮影現場やショー,舞台,ドラマ,ブライダルなどのモデルやタレント、 一般のヘアメイクをはじめ、美容専門学校講師、さらに世界4大コレクションの一つNYコレクションに 参加。 海外まで活動の場を広げているアーティストが14人が所属するヘアメイク事務所です。						
【授業を通じての到達目標】									
モデルに合わせたヘアセットとメイクが出来るようになる									
【学習内容】									
ヘアメイクの基礎技術と応用を学び、テーマに合わせた作品作り・作品撮り									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
ヘアメイク道具一式									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/27)	【夜会巻き】をウィッグ、モデルに施術が出来るようになる。				⑨ (11/22)	【パーティードレス】をテーマにヘアメイクが出来るようになる。			
② (10/4)	【雑誌】をテーマにヘアメイクが出来るようになる。				⑩ (11/29)	【ブライダル】をテーマにヘアメイクが出来るようになる。			
③ (10/11)	【外国人メイク】の特徴を理解し、ヘアメイクが出来るようになる。				⑪ (12/6)	【ブライダル・お色直し】をテーマにヘアメイクが出来るようになる。			
④ (10/18)	【外国人メイク】の特徴を理解し、ヘアメイクが出来るようになる。				⑫ (12/13)	グループでテーマを決め、コンセプトシートの作成、それに基づいたヘアメイク作品が出来るようになる。			
⑤ (10/25)	【カラー】をテーマにヘアメイクが出来るようになる。				⑬ (12/20)	グループで考えたテーマのヘアメイク作品撮り			
⑥ (11/1)	【モード】をテーマにヘアメイクが出来るようになる。				⑭ (1/10)	グループでテーマを決め、コンセプトシートの作成、それに基づいたヘアメイク作品が出来るようになる。(テスト練習)			
⑦ (11/8)	【国】をテーマにメイクが出来るようになる。(オンライン授業)				⑮ (1/17)	グループで考えたテーマのヘアメイク作品撮り			
⑧ (11/15)	【アート】をテーマにヘアメイクが出来るようになる。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									

## 講義シラバス

科目名	撮影テクニック	必修 選択の別	選択	開講 区分	4S	授業 形態	実習	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース	ヘアメイク専攻	学年	2年生		
講師名	葛西雄紀	講師 プロフィール	(株)カミト fika 店長兼カラーリスト 同会社Z SALONにて5年間店長として勤務したのち新店舗fikaに配属。ハイトーン系のカラーと特殊セットを得意とし、道内で特殊ヘアセットのセミナー活動経験あり。道内外でのフォトコンテスト受賞歴多数あり。2018年度北海道ヘアドレッシングアワードフューチャースター部門 準グランプリ 獲得						
【授業を通じての到達目標】									
撮影の基礎知識とテクニックを学び、サロンスタイルのクオリティアップ。特殊ヘアスタイリングをマスターし、クリエイティブ作品を作成できるようにする。									
【学習内容】									
撮影基礎知識の授業と機材を使った撮影、スマホを使った撮影。ワイヤーなどの特殊素材を使用した撮影テクニック、アイロンワークなどの実習									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
スマホ、持っている人は一眼レフカメラ、セット用ウィッグとセット用具一式 撮影に使うような衣装や小物などは随時用意 最初の授業は筆記用具のみ、それ以降は授業の前に伝えます。					業界のヘアのトレンドや、ファッションなどをSNSや雑誌などで常にインプットしておく				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (9/27)	【到達目標】撮影の際にイメージを共有できるようにする 【実技】撮影準備 作品イメージ作りと仕込み				⑨ (11/22)	【到達目標】ヘアセット技術の幅を広げることができる 【実技】特殊セット ワイヤーク 逆毛を立てないでボリュームを出すⅡ			
② (10/4)	【到達目標】撮影当日にスムーズに作品を作れるようになる 【実技】撮影準備 フィッティング ヘア練習				⑩ (11/29)	【到達目標】学んだ技術を応用し、作品に落とし込むことができる 【実技】セット用ウィッグでワイヤーを使ったアップスタイル作品制作			
③ (10/11)	【到達目標】モデルのヘアメイクの作品を撮影することができる 【撮影】クリエーションフォト前半				⑪ (12/6)	【到達目標】自分以外の作品を見て、自分にはない発想を知れる 【座学】作品の反省 ディスカッション			
④ (10/18)	【到達目標】モデルのヘアメイクの作品を撮影することができる 【撮影】クリエーションフォト後半				⑫ (12/13)	【到達目標】学んだ技術と知識を生かし撮影に挑むことができる 【実技】サロンスタイル撮影の準備、練習			
⑤ (10/25)	【到達目標】自分の作品を振り返り次回に活かすことができる 【座学】撮影した作品の反省、振り返りディスカッション				⑬ (12/20)	【到達目標】モデルヘアでスタイリングしお互いで撮影をする 【撮影】サロンスタイル撮影前半			
⑥ (11/1)	【到達目標】柔軟な発想でヘアセットで造形できるようになる 【実技】ヘアセットで形を表現する 例)三角、四角、ハート				⑭ (1/10)	【到達目標】モデルヘアでスタイリングしお互いで撮影をする 【撮影】サロンスタイル撮影後半			
⑦ (11/8)	【到達目標】ヘアセットの基礎技術を高め、基礎技術力の向上ができる オンライン 特殊セットの為の基礎セット技術練習 一束、ブラシ、コムテクニック				⑮ (1/17)	【定期試験】50 授業と撮影した作品の振り返り			
⑧ (11/15)	【到達目標】ヘアセット技術の幅を広げることができる 【実技】特殊セット ワイヤーク逆毛を立てないでボリュームを出す I				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				